

令和4年度
関西学院大学・群馬大学
合同シンポジウム

高等教育機関が担う次世代手話教育の可能性

ろう者と社会を取りまく今日的課題に対して高等教育機関が果たしうる役割を
皆様と一緒に考えていきます

2023年
2月19日 日 13:00～17:00

主な
プログラム

基調講演	手話教育・研究がもたらす可能性
話題提供	意思疎通支援者養成における法制度の検討
パネルディスカッション	高等教育機関における手話通訳者養成

Zoom ウェビナー

参加無料

手話通訳・文字通訳あり

■主催

関西学院大学手話言語研究センター
群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室

私たちの大学は日本財団の助成を受けて
手話に関連する諸事業を行っています

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

お申込はこちら

事前にQRコードまたはURLよりお申し込みください。
Zoom ウェビナーの入室情報をメールにてご連絡いたします。

<https://bit.ly/3ByiW1v>

締切： 2023年2月16日



基調講演

手話教育・研究がもたらす可能性

「手話は言語である」との認識のもと、手話教育手法の開拓や手話の研究が進んでいます。これらの取組みはさらに推し進められるべきですが、これを続けていけば、ろう者や難聴者の方の情報保障ニーズを満たせるようになるのでしょうか？期待される技術の進展も見据えつつ、今後の取組みについて考えていきます。

＜井上 諭一＞
文部科学省大臣官房総括審議官

1991年科学技術庁入庁。これまで、日本の地震調査研究体制の整備、スーパーコンピュータ「京」の開発、海洋資源調査システムの開発、給付型奨学金の創設、AI戦略の策定などに従事。2016-2018年に、障害のある学生を支援する施策の推進を担当。2022年9月より現職。



話題提供

意思疎通支援者養成における法制度の検討

手話通訳をめぐる資格制度は意外と複雑。そもそも厚生労働大臣認定資格の「手話通訳士」とは？ 地域生活支援事業としての「手話通訳者」とは？ 電話リレーサービスの通訳オペレータに必要な資格とは？ こうしたわかっているようで、実はよくわからない疑問を、他の専門職と比較しつつ、対話形式で検討していきます。

＜松岡 克尚＞
関西学院大学
人間福祉学部 教授
手話言語研究センター長



＜金澤 貴之＞
群馬大学
共同教育学部 教授
手話サポーター養成プロジェクト室
リーダー



パネルディスカッション

高等教育機関における手話通訳者養成

関西学院大学手話言語研究センター、群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室、世田谷福祉専門学校、全国手話研修センターによる龍谷大学等、高等教育機関における手話習得や手話通訳者養成の教育実践を振り返りながら現在の到達点を整理します。そして、今後の高等教育機関における手話・手話通訳教育の役割と課題について、関係者間で相互理解を深めていきます。

＜森本 郁代＞
関西学院大学
言語コミュニケーション文化研究科 教授
手話言語研究センター 副長

＜前川 和美＞
関西学院大学
手話言語研究センター 研究特別任期制助教

＜中野 聡子＞
群馬大学
共同教育学部 准教授
手話サポーター養成プロジェクト室

＜高井 恵美＞
社会福祉法人全国手話研修センター 手話事業課長
手話通訳士

＜飯泉 菜穂子＞
社会福祉法人聴力障害者情報文化センター 公益支援部門
手話通訳士